

詳しい記事がNIAホームページからご覧になれます
発行 習志野市国際交流協会
千葉県習志野市津田沼5-12-12
サンロード津田沼6F 〒275-0016
Tel&Fax 047-452-2650
<http://www.nia08.com/>
nia@icom.zaq.ne.jp

今夏、姉妹都市タスカルーサと 相互訪問による青少年交流が行われます

2020 Narashino - Tuscaloosa Sister Cities International Exchange Program

▶受入事業

習志野市の姉妹都市である米国アラバマ州タスカルーサ市と習志野市の市民は、これまで34年間の交流を通して相互の文化、歴史、生活等に触れ、理解と友情を深めてきました。この夏もタスカルーサ市から来日する20名の高校生が、習志野市の高校生、ホストファミリー、市民と国境を超えた友情、絆、相互理解を深める有意義な2週間を過ごす予定です。

Tuscaloosa Sister Cities has been in partnership with Narashino for 34 years. It exists to promote long-term, global human relationships through the development of international leadership, friendship and understanding. It has facilitated productive partnerships with cultural and educational exchanges.

日程：6月15日(月)～29日(月)

習志野市内4高校(津田沼、実籾、習志野、東邦大附属)訪問/授業、部活体験、生徒同士の交流。

NIユースとスカベンジャーハント(宝探しゲームとも借り物競争とも訳され、移動しながら課題を解決していくゲーム)。他(予定)6月16日歓迎レセプション/6月27日送別会。ぜひ皆様のご参加をお待ちしています。

タスカルーサ高校生のために一緒にパーティーを盛り上げましょう!

詳細&参加希望：NIA事務局へ

15 June to 29 June 2020

The 20 of Tuscaloosa Students are coming to Japan!

The Exchange Program will include a welcome party/farewell party, cultural learning, visiting to historical landmarks and local high schools. It is an opportunity for life-changing experience and global friendship establishment. Welcome Party June 16th / Farewell Party June 27th Details & RSVP: NIA

★ボランティア募集!

タスカルーサ生徒滞在中、私達と一緒にお手伝いをしてくださる方を募集しています! 習志野市内等観光、東京スカイツリー見学、習志野市内高等学校見学などの付き添い、歓迎会etcの設営、準備のお手伝い他。興味のある方は事務局までご連絡ください。

★ホストファミリー募集!

ホームステイでの受け入れにご協力くださるホストファミリーを大募集!

◆滞在期間 2020年6月15日(月)～29日(月)

◆ホストファミリーをお引き受けくださる際の条件

- ・市役所などへの集合場所に朝夕の送迎ができるご家庭
- ・滞在中 ①前半(15日～22日朝:6泊)受け入れが可能な方
- ②後半(22日～29日朝:7泊)受け入れが可能な方
- ③全期間受け入れ可能な方

◆選考 お申込み状況をもとに、訪問者の意向をふまえて協会で選考させていただきます。また同世代の学生がいる方を優先させていただきます。

◆お問い合わせ先 習志野市国際交流協会事務局

▶派遣事業

習志野市からも、応募と選考を経た市内高等学校の高校生と市内在住高校生全20名がタスカルーサへ派遣される予定です。現地高校生との交流、企業の視察、名所旧跡の見学、ホームステイでの生活体験などにより、異文化を肌で感じる貴重な機会となります。今後、説明会や事前研修など協会全体でバックアップを進めていきます。

日程：7月21日(火)～8月3日(月)

Tuscaloosa Sister Cities International - Narashino Exchange Program

Narashino will be sending 20 student delegates to Tuscaloosa city between the period of 21 July to 3 August 2020. The

Exchange Program comprises excursion to various historical landmarks, visiting to high schools and home-stay experiences.

*新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止または延期の可能性もあります。



派遣生交流会が開かれました

講話や体験談で派遣事業をアピール

坂本 智子 (国際交流部会)

1月12日(土)、サンロード津田沼大会議室で派遣生交流会が行われました。テーマは「実際に姉妹都市を訪問した派遣生の話を聞いてみませんか?」です。この交流会は次回の対象者に派遣事業をよりわかりやすく伝えるために企画されました。

当日は2部構成に分かれ、第1部は、まず部会長の原リーあんずさんとタスカルーサ姉妹都市事務局長のリサ・キーズさんから届いたビデオレターのメッセージが紹介されました。

次に当協会副会長の吉村和就さんによる「はばたけ国際社会へ～国連の望む人材～」の講話がありました。吉村さんの体験に基づく話で、特にグローバル人材になるための4か条、①なんでも食べられる、②どこでも寝られる、③誰とでもお友達になれる、④明るくて打たれ強い人、は心に残る言葉でした。そして前回の派遣引率者野中泰子さんから「Be a good risktaker」の言葉が提唱されました。また元派遣生で現NI-Youth副代表の島田早織さんからは、経験を自身の活動に生かし、今後どう成長していきたいかが語られました。海外の大学に進学したNI-Youthメンバーのメッセージもありました。

第2部は、NI-Youthと元派遣生、部会ボランティア、ホストファミリー等のテーブルに分かれ、派遣希望者やその保護者を交えて、写真や資料を見ながら体験談が語られました。

次の世代へ繋げたい

瀧川 怜子 (NI-Youth)

1月12日、2018年に姉妹都市タスカルーサ市を訪問した派遣生の話を聞く、派遣生交流会が行われました。

この日は次回の2020年派遣に興味を持っている高校生とその保護者に、前回2018年の派遣生とNI-Youthのメンバーが、滞在時の様子や役立ったこと困ったことなどを話しました。私もその時の派遣生の1人ですが、たくさん話しました。当時のことを思い出して熱が入ってしまい、「伝えすぎて楽しみがなくなってしまうかな?」とも思いました。話を聞くまでは行くかどうか迷っていたという人が、話を聞いて行ってみようと思った、と言うのを聞いて、すごく嬉しかったです。私は、当時のことを話しているうちにもう一回行きたくなり、あの時に戻れることなら戻りたいと心から思いました。

今度は私たちが先頭に立って1人でも多くの人に派遣事業のよさを伝え、次の世代へ繋げていくことが大切だと感じました。



チャットでクリスマスパーティーを行いました

三代川 朋子 (国際交流部会)

チャットメンバーは、12月9日(月)にクリスマスパーティーを開催しました。ALT(外国語指導助手)たちと一緒に英語でゲームを楽しみました。

早口言葉は英語で“tongue twister”と言いますが、名前の通り、参加者たちは舌を捻りながらややこしい発音に挑みました。普段はあまり馴染みのない英語の早口言葉も、このような機会に楽しみながらやることによって親しみやすく感じました。

そして、フルーツバスケットという椅子取りゲームでは、フルーツの名前の代わりにクリスマスに関連する言葉を使いました。ちなみに、アメリカでも「fruit basket turnover」という似た遊びがあるそうです。



9市国際交流協会等連絡協議会に参加しました

秋山 勝 (広報部会)

千葉県内9市の国際交流協会と千葉県の関連団体が毎年集まって情報と意見交換を行う協議会が開催されました。1月30日(木)午後、会場は市の生涯学習複合施設「プラッツ習志野」の研修室です。主催は今年の幹事協会である習志野市国際交流協会でした。参加したのは県北西部、市川、浦安、船橋、鎌ヶ谷、八千代、千葉、四街道の各市国際交流協会と(公財)ちば国際コンベンションビューロー千葉国際交流センターの方々、それにNIAから会長副会長理事など25名でした。

今回は議題を、事前の調整に基づき、①日本語教室(日本語の指導形態、内容。ボランティアのレベルアップ。外国人居住者の増加に伴う課題)②学生会員等の活動(学生会員の活動状況。若年層を取り込む方策)の2つに絞って進められました。

全体に、日本語教室の運営ではボランティアの確保や子ども

への対応を模索していること、学生会員の活動では若い会員が派遣生中心の傾向にあり、会員確保に悩む団体が少なくないこと、などが多かった印象です。どれもが共有する問題であっても抱える事情はさまざまで、歴史や考え方の違いもあり、共通の解決策を見つける難しさも伺えました。紹介された取り組みが参考になったとの意見もあり、確かな収穫もあったようです。



広報
から

◆メールマガジンに読者登録を

スクウェアの電子版「メール・スクウェア」を毎月1回、配信しています。無料です。配信停止も自由です。配信をご希望の方はPCメールアドレスniasquare@jcom.zaq.ne.jpまで。

◆原稿をお寄せください

イベントや活動の報告、雑感、国際交流の体験など。投稿は事務局またはniasquare@jcom.zaq.ne.jpへ。

◆スクウェア編集部員を募集しています

一緒に広報活動をやってみませんか。経験不問です。